

令和 3年度

事務事業評価表 (令和 2年度 の実績評価)

記入年月日
令和 3 年 4 月 1 日

事務事業名		県土地改良事業団体連合会参画事業				事業区分		担当	
						新規/継続	継続	事務事業No.	040102000844
						単独/補助	補助	所属課	050101
政策体系	総合計画の施策名		0401 農林業の振興				課長名		農林課
	政策名		04 活力ある産業のまちづくり				グループ		農林G
	施策名		01 農林業の振興				担当者名		
	手段名		02 ②農業の効率化推進						
財務会計上の位置付け						事業期間			
予算科目	会計	款	項	目	事業	細	一般会計		
	01	06	01	05	02	00	農地関係事業		
法令根拠	土地改良法					単年度繰返し (昭和33 年度~)			
						☞ 期間限定の場合、総投入量を (3) 投入量の右側に記入			

【Do】 1. 事務事業の現状把握 (その1)

(1) 事務事業の概要	
①事務事業の概要 (事務事業の全体像)	②担当者が行う業務の内容・やり方・手順
<p>【概要】</p> <p>会費を負担することで、土地改良事業に関する技術的助言や指導を受け、適切かつ効率的な事業を推進し、成果の向上に努める。</p> <p>【茨城県土地改良事業団体連合会】</p> <p>土地改良事業 (ほ場整備・農道整備・用排水路整備・ため池整備等) を実施する者 (市や土地改良区) が会員となり、土地改良事業の適切な事業推進を図るために活動している非営利法人。</p>	<p>①事業申請者 (農業者等) から土地改良事業の相談を受ける。</p> <p>②相談事案について連合会と実施調査・協議の実施</p> <p>③技術的指導を受けて事業計画案の作成</p> <p>④計画案に基づき事業申請者と協議を実施</p> <p>また、県単土地改良事業予定地区に係る法手続きに必要な書類作成や助言又は補助を受け、事業実施している。</p>

(2) 事務事業の手段・対象・意図と各指標、指標値の推移

①手段 (担当者の活動内容)	④活動指標 (活動量を表す指標)	単位	01年度	02年度	03年度	04年度	05年度
			(実績)	(実績)	(計画)	(目標)	(目標)
伝票処理	職員の勤務時間	h	70.00	70.00	70.00	70.00	7.00
	委託件数	件	35.00	5.00	5.00	5.00	5.00
	相談件数	件	35.00	18.00	20.00	20.00	20.00
				0.00	0.00	0.00	0.00
②対象 (誰、何を対象にしているのか)	⑤対象指標 (対象の大きさを表す指標)	単位	01年度	02年度	03年度	04年度	05年度
			(実績)	(実績)	(計画)	(目標)	(目標)
市営土地改良事業の事業計画・設計相談業務	連合会の業務協力時間	h	500.00	320.00	300.00	300.00	300.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
③意図 (この事業によって対象をどう変えるのか)	⑥成果指標 (対象における意図の達成度を表す指標)	単位	01年度	02年度	03年度	04年度	05年度
			(実績)	(実績)	(計画)	(目標)	(目標)
土地改良事業の整備事業実施に当たり、適切かつ効率的に事業推進できる。	協力率=協力時間 / (職員の勤務時間+協力時間)	h	135.00	81.00	81.00	81.00	81.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

(3) 投入量 (事業費) の推移

		01年度	02年度	03年度		期間限定
		(実績)	(実績)	(計画)		総投入量
投入量	事業費	国庫支出金	千円	0	0	0
		県支出金	千円	0	0	0
		地方債	千円	0	0	0
		使用料・手数料	千円	0	0	0
		その他	千円	0	0	0
		一般財源	千円	263	667	647
	事業費計 (A)	千円	263	667	647	
	正規職員従事人数	人	1.00人	1.00人	1.00人	

02年度事業費 実績 (千円)

03年度事業費 予算 (千円)

		02年度	03年度
		実績	予算
事業費の内訳	18 負担金補助及び交付金	667	647
	合計	667	647

事務事業名	県土地改良事業団体連合会参画事業	事務事業No.	40102000844	所属課	農林課
(4) この事務事業を開始したきっかけは、いつ頃どんな経緯で開始されたのか？ 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか？ 昭和33年4月1日、土地改良事業を実施する者が会員となり、土地改良事業を適切かつ効率的に事業推進するために設立された団体である。当市は未整備箇所が未だ多く、そういった地域ほど耕作放棄地が目立つ状況である。					
(5) この事務事業に対して関係者（住民、議会、事業対象者、利害関係者）からどんな意見や要望が寄せられているか？ 市民からの要望が多様化している中、農業生産基盤整備事業を実施するにあたり、専門性を生かした事業の立案や助言を受ける機関があり非常に助かる。					

【See】 2. 評価の部 *原則は事前評価。

評価項目	
現状維持	①政策体系との整合性 (この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか？意図することが結果に結びついているか？) <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている 農業生産基盤整備事業を円滑に実施するため、技術的な助言及び指導を受ける場が必要である。
	②公共関与の妥当性 (なぜこの事業を市が行わなければならないのか？税金を投入して、達成する目的か？) (法定受託事業はその名称) <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である 農業生産基盤整備事業に関する専門知識や経験を、市担当職員へフィードバックし、安定して品質の高い事業を行うため。
有効性	③成果の向上余地 (成果を向上させる余地はあるか？成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか？何が原因で成果向上が期待できないのか？) <input type="checkbox"/> 向上余地がない 土地改良法の下で実施しているため適正である。
	④廃止・休止の成果への影響 (事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？) <input checked="" type="checkbox"/> 影響有 事業推進のサポート体制が無くなることから、専門職員が張り付く必要が生じ、人件費の削減にならない。
	⑤類似事業との統廃合・連携の可能性 (類似事業や統廃合の可能性はありますか？(市以外の取り組みも含む)) (他に手段がある場合) <input type="checkbox"/> 具体的な手段、事務事業名 <input type="checkbox"/> 余地がない 本事業以外の業者への委託も考えられるが、継続性の観点での効率が悪くなる可能性もある。
効率性	⑥事業費・人件費の削減余地 (成果を下げずに事業費を削減できないか？やり方を工夫して延べ業務事業を削減できないか？) <input type="checkbox"/> 削減余地がない 事業費(負担金)は、当連合会理事会内で毎年協議・決定している。土地改良事業は、市又は土地改良区によって事業化できるが、改良区以外での整備申請者(農業者等)との協議・調整が多く、正職員が必要となる。
公平性	⑦受益機会・費用負担の適正化余地 (事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？) <input checked="" type="checkbox"/> 公正・公平である 本事業が維持されることで、公平性が保たれる。

【Plan】 3. 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)

(1) 1次評価者としての評価結果		(2) 全体総括(振り返り、反省点)																			
①目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ②有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ③効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ④公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	⇒	農業生産基盤事業を円滑に実施するために必要である。																			
(3) 今後の事業の方向性		(4) 改革・改善による期待成果 (終了・廃止・休止の場合は記入不要)																			
<input type="checkbox"/> 終了 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 改革改善を行う <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止		(複数回答可) <input type="checkbox"/> 目的の再設定 <input type="checkbox"/> 効率性の改善 <input type="checkbox"/> 有効性の改善 <input type="checkbox"/> 公平性の改善 <input type="checkbox"/> 統廃合ができる <input type="checkbox"/> 連携ができる																			
(5) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策		<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">成果</th> <th rowspan="2">向上 維持 低下</th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">×</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td style="text-align: center;">×</td> <td style="text-align: center;">×</td> <td style="text-align: center;">×</td> </tr> </tbody> </table>		成果	向上 維持 低下	コスト			削減	維持	増加				○	×			×	×	×
成果	向上 維持 低下	コスト																			
		削減	維持	増加																	
			○	×																	
		×	×	×																	
		(6) 事務事業優先度評価結果																			
		成果優先度評価結果	⑧																		

【Check】 4. 確認及び改革改善に向けての指摘事項

(1) 課長評価	(2) 部長確認及び評価 (課長評価により、C、D判定及び確認が必要な場合)
課長確認後の評価 <input type="checkbox"/> A A: 継続(現状維持) C: 終了、廃止、休止 <input type="checkbox"/> B B: 継続(改革改善を行う) D: 2次評価へ提出	確認欄 <input type="checkbox"/>